

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 三ツ境教室

保護者等数(児童数) 43 回収数 36 割合 83 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	2	2	6	・活動しているお部屋の中に入る機会がないため、よくわからない。メインで活動する場所、静養室など分かれている。	・保護者様の要望に合わせて、活動を見学する機会を設ける。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	30	2	2	4	・知らない間に新しいスタッフが入っていたり、いなくなったりする。挨拶もできなかった。・多くの職員がいて安心できる。	・研修の機会を設けるなど職員の専門性を高めると共に、休日の職員配置を増やすなど安全に児童を預かれる環境を作っていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	6	0	18	・活動しているお部屋の中に入る機会がないため、よくわからない。スロープが外にあるのは知っているが、他は分からない。	・ケガ防止につながるよう環境づくりをしていく。・保護者様の要望に応じて、施設内を見学する機会を設ける。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	36	0	0	0	・課題を理解してもらい、短期、長期の計画を作っている。	・今後も児童や保護者と真摯に向き合い、支援計画を作成する。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	34	0	0	2	・連絡帳での活動を見ると、体を使ったり、考えたりと様々なプログラムとなっている。毎回違うプログラムで子供も楽しんでいる。	・これからも季節ごとの行事を意識したプログラムや子どもの楽しいと思えるプログラムを職員全員で考えていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	6	14	16	・学校で交流があるので、特になくても問題ないかと思えます。コロナ禍ということもあり、機会があまりない。多分ないと思う。	・職員間のつながりから、他の施設のイベントに参加するなど交流する機会を作っていく。
保護者 への説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36	0	0	0	・最初に説明がありました。支援の内容は面談や送迎時に聞いている。	・今後も丁寧な説明を心がけます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	36	0	0	0	・送迎時に話ができて、連絡帳でも伝え合っている。送迎時にしっかりと様子を伝えてくれる。共有できるので、親としては安心。	・今後も連絡帳や送迎時のコミュニケーションにて子どもの発達の状況などを共有していく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	0	0	0	・定期的に面談で話しています。定期的に面談し、安心させてもらっています。丁寧に聞かれています。	・半年に一度面談を行うだけでなく、不安なことがあればいつでも電話や対面での相談を受け、保護者の不安を少なくしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	22	12	・学校でのつながりもあるので問題ありません。 ・他の保護者と出会う機会がない。	・イベントを通じて、交流する機会を作っていく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	2	0	4	・対応の体制はされていると思うが、苦情がないため、実際対応していないため、分からない。 ・苦情を伝えようと思ったことはありません。	・苦情については職員間で共有し、迅速な対応を心がけているので、今後も続けていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36	0	0	0	・送迎の際にできています。会報や送迎時の話で伝わっている。	・連絡帳でのやりとりや手紙、送迎時の会話を通じて情報伝達をしていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	0	0	2	・会報が月に1度あるため、その月にあった活動を知ることができる。	・こぼんはうすだよりを発行していく。年度初めだけでもスタッフの顔写真の紹介があると良いと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	36	0	0	0	・されていると思う。	・契約時に、会報に写真を使用してもいいかなど、確認を取っていく。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	26	6	2	2	・避難訓練をやったと子供から聞きますが、マニュアルについては周知していません。マニュアルが策定し、手紙として説明されている。	・マニュアルについては契約時に説明する。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	0	0	6	・避難訓練のプログラムが組まれている。 ・週に2回なので、違う日にやっているかも。	・今後も定期的に避難訓練を行っていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	36	0	0	0	・大好きな先生に会えることを楽しみに毎週通っています。友達、職員との関わりを楽しみにしている。	・今後も楽しく通所できるようにプログラムを考えたり、児童の成長を職員全員で見守っていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	36	0	0	0	・いつもありがとうございます。支援相談に特に力を入れてくださり、助かっています。	・児童の発達状況を共有し、最適な関わり方を考えるとともに、研修の機会を設けて、職員の知識や技術を高め、専門性を伸ばしていく。

486 26 42 72

78%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぱんはうすくら ミツ境教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	5	・利用者が多い場合は部屋を分けスペースを確保している。学校の長期休みや祝日等、利用日数が多すぎる時がある。	
	2	職員の配置数は適切である	10	5	・多い時には別の仕事をして効率よく仕事をしている。休日や祝日に職員の不足が目立つ。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	6	・けが防止のためテーブルの脚にクッション材を巻くなど工夫をしている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	15	0	・ミーティングで情報共有をしたり、ミスシートに記入を行うことで、同じ失敗をしないように注意している。	・業務の効率化を図るために仕事内容を工夫できないか日々考えていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	0	・年に一度アンケートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	0	・アンケートの集計結果をホームページなどで公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	15	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	9	・研修の参加の機会が少ないと感じる。	・研修の機会を設けたいと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	15	0	・保護者様から直接うかがい一緒に確認し、他職員とも共有している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15	0	・基準となる評価のシートを元に保護者に質問し、発達状況を聞いている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	7	・基本的にその日の担当のリーダーがプログラム内容を考え、不安な時は他の職員に相談している。	・個にならないようチームで話し合い、共有の場を設ける。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	2		・日々リーダーを変えることで内容が偏らないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	4	・それぞれプログラムで使える時間が異なるので、じっくり時間をかける時は自由作業など時間をかけて取り組める課題を用意している。	・平日、休日、長期休暇に分けて、具体的に目標を決めていたわけではないので、検討していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	15	0	・集団活動とは別に個々の苦手なところ伸ばしたいところを踏まえ作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11	4	・前日に翌日の担当などを公表し当日の朝のミーティングで細かいところを確認している。 ・療育に入る人、抜けて事務作業をする人、役割を決めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	7	・利用人数が多い時には送迎に時間がかかりその日のうちに共有できない時もあるが伝達ノートに記載し情報を共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	2	・連絡帳やモニタリングシートに良かったことや気になることを記入している。	・療育終了後にはタイミングがあった職員同士で児童の様子について話し合っている。・教室内の連絡ノートに書いて共有している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	15	0	・児童の様子をその都度職員同士で振り返り、プログラムの内容や支援目標が適切だったかどうかを考え、目標や課題を微調整している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	12	3	・季節や行事にあった工作をしたり、自然を見つけにお出かけに行ったりしている。	・ガイドラインの総則を忘れてしまうことがあるので、定期的に読み合わせができればいい。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	3	・会議には児童の様子をよく見ていたものが参加するようにしている。 ・児発管や管理者が行き、情報を他の職員に共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	15	0	・急な予定変更の時には情報の伝達が遅れるため、早めの連絡をお願いしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			対象者なし	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	15	0	・他の併用している施設の方が見学に来たり、保護者様と一緒にリモート会議を行ったり、情報共有や支援計画の話し合いの時間がある。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			対象者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	11	4	・一部職員が助言や研修を受けている。	・専門機関との連携は少なく、研修の機会もあまりないので、少しずつ増やすようにしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	12	・瀬谷スポーツフェスタや近所のイベントに参加する機会がある。	・夏祭りやクリスマス会などを通して、交流する機会を作れたらよい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	7	・一部の職員が参加している。	・機会があれば他の職員も参加する時間を設けたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	0	・連絡帳や手紙でのやりとり、送迎時の会話で保護者様と情報を共有している。必要があれば、電話での相談も受けている。面談も個々に行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	13	2	・保護者様にもお家での子どもの対応の仕方の相談に乗り、助言を行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	0	・契約時に説明している。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	0	・相談に応じて、他の職員にも児童の様子を伺いながら、より適切な回答ができるようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	15	・父母の会はない。横の連携はない。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15	0	・毎月、児童の全体の活動の様子が分かるように会報(こぼんはうすだより)を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	15	0	・契約時に写真の許可を得るなど配慮している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15	0	・連絡帳や送迎時の会話を通して、情報を共有している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	13		・クリスマス会などイベントを通して、地域の方とも交流を取るようになっていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	3		・職員が実際に動けるための分かりやすいマニュアルが必要なため、作成し、定期的に共有する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13	2	・定期的に、火災、地震の避難訓練を行っている。	・訓練の頻度を増やし、特に職員にはより具体的に必要な訓練を実施する。備蓄等も検討。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	3	・虐待防止の動画を職員で見ている。	・もう少し時間を作って、研修の機会を設けたいと思う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	5	・拘束が必要な子が通所していない。	・身体拘束に関する法律などの研修の機会を設けるとともに、職員間でも話し合っ、取り決めを行いたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	5	・保護者から情報を得て、対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15	0	・ミスシートやけが発生報告シートを作成し、職員間で共有し、同じことが起こらないように気を付けている。	